

HISTOFINE

 免疫組織化学染色試薬
ホルマリン固定パラフィン包埋切片用

研究用試薬

組織・細胞中のCD25の染色に

CD25ウサギモノクローナル抗体 (EP218)

■ 動物種：ウサギ	■ コード	■ 包装 (希釈済抗体)	■ 価格
■ クローン：EP218	418548	15テスト (1.8mL)	¥ 16,000
■ 研究用としてのみ使用すること	418549	45テスト (1.8mL×3本)	¥ 42,000

価格はメーカー希望小売価格を表示しております。なお、この価格には消費税は含まれておりません。

■ 特異性及び抗原分布

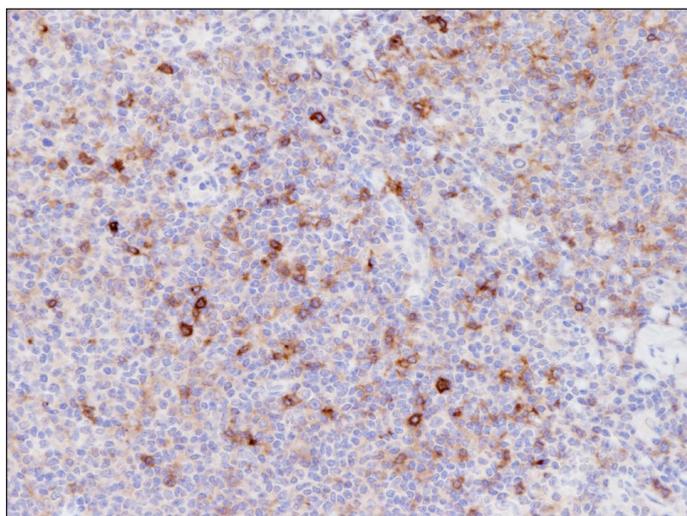
ヒトCD25 (別名: Tac) 抗原と特異的に反応する。CD25は分子量55kDaの膜貫通糖タンパク質で、インターロイキン-2レセプター (IL-2R) の α 鎖であり、単体ではIL-2に対して低親和性レセプターであるが、CD122 (IL-2R β) およびCD132 (共通 γ 鎖、 γc) と三量体を形成することで高親和性レセプターとなる^{(1)~(5)}。この高親和性レセプター (三量体) がIL-2と結合することで、制御性T細胞 (Treg) へのシグナル伝達による免疫寛容や、エフェクターT細胞 (Teff) へのシグナル伝達による免疫活性化に関与する^{(3)~(5)}。正常では、制御性T細胞、活性化T細胞、NK細胞、樹状細胞などの細胞膜に発現がみられる^{(3)~(7)}。腫瘍では、成人T細胞白血病/リンパ腫 (ATLL)、有毛細胞白血病、肥満細胞症、未分化大細胞型リンパ腫、ホジキンリンパ腫などに発現がみられる⁽²⁾⁽⁶⁾。骨髄生検標本におけるCD25の免疫組織化学染色は、非腫瘍性肥満細胞では発現がみられず、腫瘍性肥満細胞では発現がみられることから、全身性肥満細胞症の判別に用いられている⁽⁶⁾⁽⁸⁾。

注) CD25を発現している細胞は、細胞膜の他に細胞質にも弱~中程度の染色がみられることがある。

前処理 (抗原賦活化) として「抗原賦活化液pH9」 (コード: 415201 またはコード: 415211) を用いた温浴処理が必要です。 → pH9 温浴処理 (+)

■ 染色データ

■ CD25ウサギモノクローナル抗体 (EP218)



■ 扁桃: 散在する細胞の細胞膜に反応がみられる。
pH9 温浴処理 (+)

使用方法、染色手順につきましては、第一抗体の使用説明書をご参照ください。使用説明書は弊社Webサイトよりご覧いただけます。

■ 参考文献

- (1) Franke A, et al. Interleukin-2 receptor α (IL-2R α /CD25) shedding is differentially regulated by N- and O-glycosylation. *Biochim Biophys Acta Mol Cell Res.* 2025 Jan;1872(1):119863.
- (2) Damoiseaux J. The IL-2 - IL-2 receptor pathway in health and disease: The role of the soluble IL-2 receptor. *Clin Immunol.* 2020 Sep;218:108515.
- (3) Lokau J, et al. The soluble IL-2 receptor α /CD25 as a modulator of IL-2 function. *Immunology.* 2024 Mar;171(3):377-387.
- (4) Liao W, et al. Interleukin-2 at the crossroads of effector responses, tolerance, and immunotherapy. *Immunity.* 2013 Jan 24;38(1):13-25.
- (5) Shouse AN, et al. Interleukin-2 signaling in the regulation of T cell biology in autoimmunity and cancer. *Immunity.* 2024 Mar 12;57(3):414-428.
- (6) Dabbs DJ, editor. *Diagnostic Immunohistochemistry.* 5th ed. Philadelphia, PA: Elsevier; c2019. 932p.
- (7) Abel AM, et al. Natural Killer Cells: Development, Maturation, and Clinical Utilization. *Front Immunol.* 2018 Aug 13;9:1869.
- (8) Ustun C, et al. Systemic mastocytosis: current status and challenges in 2024. *Blood Adv.* 2025 May 13;9(9):2048-2062.

■ 製品紹介

■ 研究用試薬 第一抗体

コード	品名	コード	品名
413241	CD3モノクローナル抗体(PS1)	413591	CD3ウサギモノクローナル抗体(SP7)
413181	CD4モノクローナル抗体	413951	CD4モノクローナル抗体(4B12)
413201	CD8モノクローナル抗体		

製造販売元 **株式会社ニチレイバイオサイエンス**

〒104-8402 東京都中央区築地6-19-20
TEL.03(3248)2208 FAX.03(3248)2243